

総合計画／実施計画書 兼 事務事業評価シート

評価対象年度 H19 年度

評価実施年度 H20 年度

担当部局

部局名
課室名

産業経済部
農林整備課

6. 前年度の事業評価					評価に関する視点	
事業の 必要性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	時代や市民ニーズの変化への対応、事業目的の緊急性、重要性、さらには他の自治体の動向等を踏まえて評価する。		
理由	椎茸産業は、輸入椎茸の増加や生産者の減少、高齢化など、極めて厳しい環境に置かれている。椎茸産地が将来にわたって生き残っていくためには、生産現場における一層の合理化、省力化、低コスト化を図る必要があるため。					
行政の 関与	1 2 3 4 5 不要 ← → 必要	評価	4	この事業は行政が実施しなければならない事業なのか、民間でサービスを提供できないのか等、民間との役割分担を考慮して評価する。		
理由	生産施設の整備及び経費負担については、市が実施主体であることが、大分県椎茸振興3箇年計画及び大分県特用林産振興に関する事業補助金交付要綱に定められているため。					
手段の 妥当性	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	行政がこの事業を行うこととした場合、事業実施の方法は妥当か、効率的な方法なのか等、外部委託や受益者負担等を含めて評価する。		
理由	施設整備については、単年度ごとの事業計画書を策定し、計画的な事業を実施しているため。					
事業の 効果	1 2 3 4 5 低い ← → 高い	評価	4	事業の効果は上がっているのか、事業は効率的に実施できたのか、事業経費は事業実績と比べてどうか等、費用対効果も含めて評価する。		
理由	全国的に生産量が落ち込む中、市内生産量は現状を維持しているため。また、後継者や新規参入者の確保対策により、徐々にマンパワーが確保されているため。					
事業の 予算	1 2 3 4 5 減額 ← → 増額	評価	5	全ての行政経費の削減が求められる中で、予算を減額できないか、できないのであればその理由はなぜか等、事業経費の面について評価する。		
理由	平成21年度から、人口ほだ場、ハウス等の整備件数が増えるため。					
人 体 員 制	1 2 3 4 5 減員 ← → 増員	評価	3	事業経費と同様、職員全体を削減せざるを得ない状況の中で、組織の見直し、グループ制の活用、外部委託等の様々な手法を含めて評価する。		
理由	平成21年度から施設整備数が増えることにより、一定の増員要素はあるものの、グループ制等活用し、事業を実施するため。					
事業 規模	A B C D E F 廃止 終了 統合 縮小 維持 拡大	評価	E	今後の事業規模の方向性について、事業の必要性、緊急性、事業経費や担当職員数の増減等を検討し、社会情勢や市民生活への影響等も十分考慮した上で、事業全体としてどのような方向へ進めていくのかを総合的に判断する。		
理由	生産者の安定した経営等確保のために、平成20年度から平成22年度の3箇年で計画的に事業を実施することとしているため。					
その他、特記事項		事業の内容や事業規模に関する意見、補足説明、事業改善の方向性等、特記すべき事項を記載する。				
部 長		課 長		班 長		担当者
						内線 2418 E-mail @bungo-ohno.jp